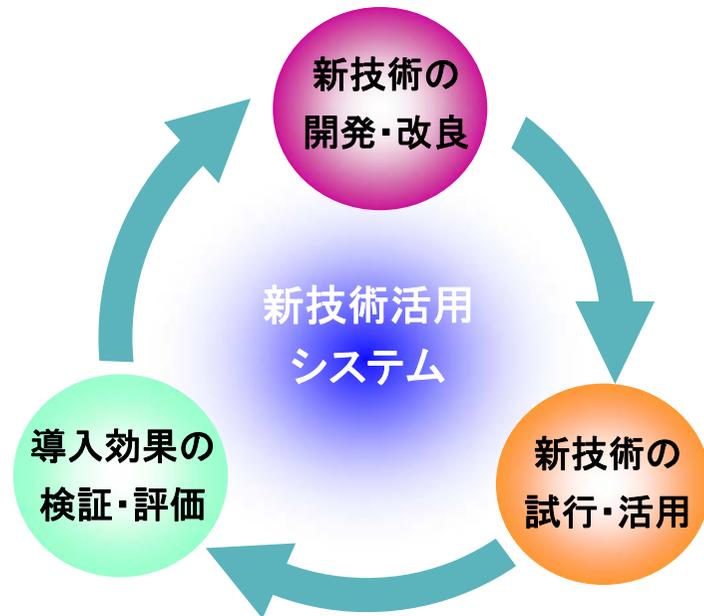


公共工事等における新技術活用システム



Point 1

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において積極的に活用していくためのシステムです。

Point 2

新技術情報提供システム(NETIS[※])を中核とする新技術情報の収集と共有化、直轄工事等での試行および活用導入の手続き、効果の検証・評価、さらなる改良と技術開発という一連の流れを体系化したものです。

平成17年4月より試行的に運用してきた「公共工事等における技術活用システム」を、平成18年8月より、新技術の峻別による有用な新技術の活用促進と技術のスパイラルアップを目的として、事後評価に重点をおいた『公共工事等における新技術活用システム』として本格運用しています。

※ NETIS（新技術情報提供システム）～New Technology Information System～

国土交通省が運用している新技術に係る情報を、共有及び提供するためのデータベースです。平成10年度より運用を開始し、平成13年度よりインターネットで一般にも公開。有用な新技術の情報を誰でも容易に入手することが可能です。平成19年7月末時点で約3,400件の申請情報が登録がされています。

URL : <http://www.mlit.go.jp/netis/>